

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク
(NISE)

NISE(ナイス) : Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

2026
第 38・39 週
令和 8 年
9/14～9/27【お問合せ先】 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目1-1
TEL：0993-53-2316 / FAX：0993-53-4519 / E-mail：minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

全国的にインフルエンザ報告数が増加しています。外出後の手洗い・うがいや咳エチケット、こまめな換気などを心がけましょう。

多くの医療機関では、10月からインフルエンザの予防接種が開始されます。上記の対策に加え、早めのワクチンの接種もご検討ください。

1. 定点報告疾患の発生状況

疾 患 名	警 報		注意報 基準値	対 象	34週	35週	36週	37週	38週	39週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	—	—	—	加世田	39.50	25.50	41.00	51.00	51.50	27.50
				指 宿	29.50	28.00	22.50	29.00	29.50	49.00
				県	41.37	41.40	49.53	55.63		
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	—	—	0.50	4.00	1.50	4.50
				指 宿	0.50	1.00	—	0.50	—	1.50
				県	1.58	2.32	4.35	4.81	6.39	6.82
COVID-19	—	—	—	加世田	0.50	1.50	2.00	—	—	—
				指 宿	1.50	2.50	0.50	—	0.50	0.50
				県	0.67	0.82	0.61	0.65	0.79	0.44
RSウイルス感染症	—	—	—	加世田	2.00	—	2.00	—	1.00	3.00
				指 宿	—	—	1.00	1.00	—	—
				県	1.10	1.52	2.00	1.52	1.29	1.10
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	加世田	1.00	—	—	—	—	—
				指 宿	—	—	—	1.00	1.00	—
				県	0.45	0.35	0.97	0.81	0.65	0.61
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指 宿	2.00	1.00	—	2.00	—	1.00
				県	1.29	1.74	2.39	1.81	1.87	1.03
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	加世田	8.00	5.00	12.00	7.00	14.00	7.00
				指 宿	6.00	5.00	6.00	3.00	3.00	2.00
				県	2.97	3.23	3.32	3.87	3.19	2.90
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指 宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.26	0.16	0.39	0.16	0.32	0.10
手足口病	5.00	2.00	—	加世田	—	—	1.00	—	—	—
				指 宿	1.00	—	—	1.00	1.00	1.00
				県	0.29	0.29	0.61	0.45	0.35	0.16
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指 宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.13	0.13	0.10	0.03	—	0.03
突発性発しん	—	—	—	加世田	—	—	1.00	1.00	—	1.00
				指 宿	—	1.00	1.00	2.00	—	—
				県	0.45	0.48	0.42	0.55	0.26	0.48
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	加世田	—	—	1.00	1.00	—	1.00
				指 宿	—	—	1.00	—	1.00	—
				県	0.19	0.32	0.42	0.74	1.06	0.45
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指 宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.03	—	—	0.10	0.03	0.03

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

2. 警報・注意報の状況



(流行発生警報・注意報の基準値を超えた感染症)

警報発令中

加世田： なし
指 宿： なし
県： なし

注意報発令中

加世田： なし
指 宿： なし
県： なし

3. 全数報告疾患の発生状況



(管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第 38週 (9/14～9/20)

なし

第 39週 (9/21～9/27)

なし

4. 南薩地域で注目すべき感染症

※人数は定点医からの報告です。全体の患者数ではありませんので、ご注意ください。

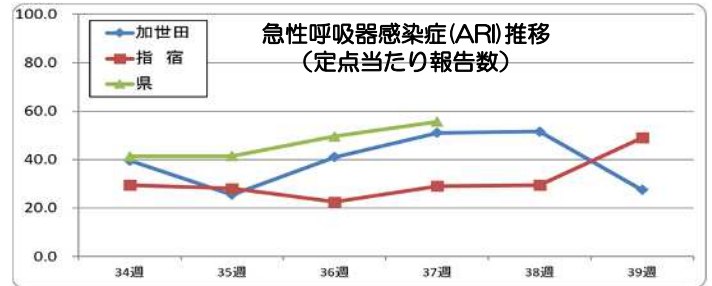


急性呼吸器感染症（ARI）

第39週の報告数は、加世田保健所管内で55人（定点当たり27.50）でした。

指宿保健所管内では、98人（定点当たり49.00）でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1～4歳（59人）、5～9歳（42人）、0歳（14人）の順に多く報告されています。

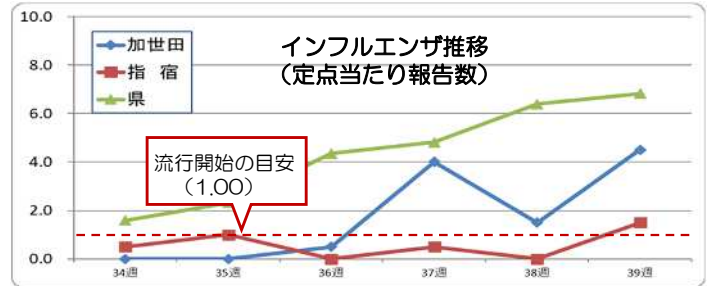


インフルエンザ

第39週の報告数は、加世田保健所管内で9人（定点当たり4.50）でした。

指宿管内では、3人（定点当たり1.50）でした。

県全体では、389人（定点当たり6.82）で、前週より25人増加しました。年齢別では、5～9歳（75人）、1～4歳（60人）、40～49歳（43人）の順に多く報告されています。

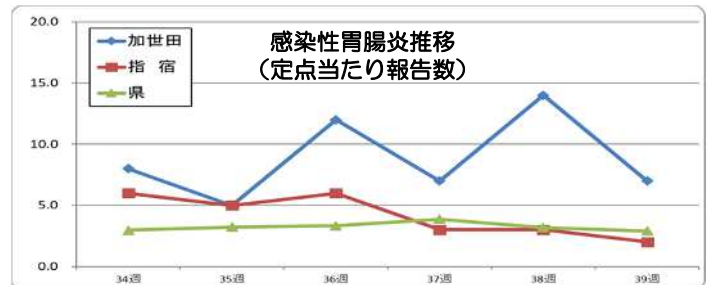


感染性胃腸炎

第39週の報告数は、加世田保健所管内で7人（定点当たり7.00）でした。

指宿管内では、2人（定点当たり2.00）でした。

県全体では、90人（定点当たり2.90）でした。



今週の
話題

季節性インフルエンザワクチンについて



インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる感染症です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している方では肺炎を合併し、重症化することがあります。

■ワクチンの効果

インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありません。しかし、インフルエンザの発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに関しては、一定の効果があるとされています。

※国の研究によれば、65歳以上の高齢者福祉施設に入所している高齢者については34～55%の発病を阻止し、82%の死亡を阻止する効果があったとされています。

＜ワクチン供給見込み＞
今シーズンのワクチンは、近年の使用量を超える供給量が見込まれています。

■ワクチンの種類

	ワクチン	対象者	回数（毎シーズン）	方法
定期接種	インフルエンザHAワクチン	・65歳以上の者 ・60～64歳で対象になる方（＊）	1回	皮下注射（0.5ml）
任意接種	インフルエンザHAワクチン	生後6か月以上で、定期接種の対象者を除く全年齢	・13歳未満：2回 ・13歳以上：原則1回	皮下注射（6か月以上3歳未満：各0.25ml）（3歳以上：各0.5ml）
	経鼻弱毒生インフルエンザワクチン	2歳以上19歳未満	1回	鼻腔内に噴霧（0.2ml）

（＊）心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、HIVによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

多くの医療機関では、10月からインフルエンザワクチンの接種が開始されます。実施日時や費用等は医療機関によって異なりますので、接種を希望される方は医療機関にお問い合わせください。

※定期接種を受ける際は、市が発行する予診票が必要です。

参考：インフルエンザワクチン(季節性) | 厚生労働省